

スタートアップの育成の在り方に関するワーキンググループの開催について

令和3年3月19日

1. 令和3年3月17日の成長戦略会議において、我が国のスタートアップの数は依然として低い水準にとどまっており、かつ、成長するスタートアップは極めて少ない現状を踏まえ、スタートアップの創設・成長発展のための環境整備の重要性が確認されたところ。

これを受け、以下の項目を含む、スタートアップの創出・成長発展のための適切な環境の構築の方策を検討するため、「スタートアップの育成の在り方に関するワーキンググループ」（以下「WG」という。）を開催する。

- (1) スタートアップの創出・成長発展のための環境整備はどうあるべきか
 - (2) SPAC という形態を使って、短期間のうちに上場し、資金調達を行う方法を検討すべきではないか
 - (3) 未上場のスタートアップへのリスクマネーの流れを太くする観点から、特定投資家の範囲の拡大の検討など、諸制度の整備を検討すべきではないか
 - (4) 公開価格の決定方法の見直しといった対応を検討する必要があるのではないか
 - (5) 挑戦する人材、異端児を増やすため、人材育成システムや起業家教育のあり方について検討すべきではないか
 - (6) 大企業がスタートアップ企業に対して人材や資金の支援をリスクを取って行うエコシステムを構築すべきではないか
2. WG への参加者は、成長戦略会議有識者のほか、以下のとおりとする。ただし、必要があると認めるときは、以下の参加者以外に出席を求めることができる。

大関 洋 ニッセイアセットマネジメント代表取締役社長

黒沼 悦郎 早稲田大学大学院法務研究科教授

鈴木 健嗣 一橋大学大学院経営管理研究科教授

松本 勝 VISITS Technologies 株式会社代表取締役

吉村 隆 ゴールドマン・サックス証券株式会社取締役（五十音順）

事務局等

内閣官房成長戦略会議事務局、金融庁、経済産業省、東京証券取引所（オブザーバー）等

3. WG における検討結果は成長戦略会議に報告し、成長戦略に向けて論点整理を行う。